

東北海区沿岸水温予報(2018年)

海域	経過 (1~3月)	現況(4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4月下旬~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:1月下旬から2月上旬はやや低め、2月中旬はかなり低め、2月下旬はやや低めだったが、3月下旬はやや高めとなった。</p> <p>・3月の津軽暖流域の水温はやや高め~平年並み、水塊震度はやや深め、津軽暖流の東方への張り出しは平年並み</p>	<p>・定地水温は平年並み</p> <p>・親潮第1分枝が次第にその勢力を強めてきた</p> <p>・4月の対馬暖流域の水温は平年並み~やや高め</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する</p>	<p>・FRA-ROMSによると、三陸沖にある暖水塊が徐々に北上して津軽暖流水と接し、親潮第1分枝の接岸を阻む傾向がみられる</p> <p>・津軽暖流はこの暖水塊から暖水の波及を受けるものと考えられる</p>	<p>1月30日から2月上旬にかけて、むつ市田名部から野辺地町狩場沢にかけての陸奥湾沿岸にマイワシが大量に打ち上げられた。沖でもホタテの養殖施設周辺で、多量のマイワシが確認された。マイワシの大きさは15~25センチ程度で、生きたものもみられた。</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>1月(観測日:1月30日~2月1日) 《表面水温》 10海里以内は7~9℃台であり、全域で平年並みであった。 10海里以東は、県北部沖30~50海里で低く、県中部から南部は平年並みであった。 《100m深水温》 10海里以内は、平年並みであった。 10海里以東は、県北部沖40~50海里で低く、県中部から南部でやや高めであった。 2月(観測日:2月14日~21日) 《表面水温》 10海里以内は6~9℃台であり、県中部から南部は平年並み。10海里以東は、県北部沖の20~50海里で低く、県中部から南部沖の10~50海里で高めであった。 《100m深水温》 県中部から南部の全域で高めであった。 3月(観測日:3月12日~3月14日) 《表面水温》 10海里以内は5~9℃台、県南部においてやや高めであった。10海里以東は、県北部から中部沖の40~50海里及び県南部沖の10~30海里で高めであった。 《100m深水温》 県中部沖の40~50海里及び県南部沖の5~20海里で高めであった。</p>	<p>(観測日:4月4日~10日) 《表面水温》 10海里以内は5~10℃台で、県中部から南部沖でやや高めであった。10海里以東は、平年並みから高めであった。 《100m深水温》 10海里以内は平年並みからやや高め、10海里以東は、平年並みから極めて高かった。 特に、県中部沖の40海里付近で極めて高い定点があった。</p>	<p>5月は、100m深水温では県中部から南部の沖合域でやや高め、各0海里定点の10m深では全域で平年並みと予測。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>県南部の定置網におけるマイワシの漁獲が好調。 1月:1,891t 2月:1,159t 3月:239t</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>【1月】 表面:142°E以西では平年並~1℃低め、142°E以东では平年より1℃高め。 100m:142°E以西では平年並、142°E以东では平年より1~2℃高め。 【2月】 表面:平年より1~2℃高め。 100m:平年より1~3℃高め。 【3月】 表面:平年より1~6℃高め。 100m:平年より2~5℃高め。</p>	<p>表面:平年より1~9℃高め。 100m:平年より3~7℃高め。</p>	<p>【5月】 142°10'E以西の岸よりの海域は平年並、142°10'E以东はやや高めで推移する。 【5月】 いずれの海域も平年並で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測(38°50'Nラインの欠測値は岩手県の樺島38°56'Nラインの観測データ及び前後月のデータによる線形補間により補間)</p>	<p>親潮第1分枝が沿岸を退き、暖水波及が顕著。 ツノナシオキアミの不漁。</p>
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	<p>【1月】 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県中:沿岸は「やや低め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「やや低め」、沖合は欠測 【2月】 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 【3月】 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「高め」、沖合は欠測</p> <p>※県北:37-50°N、県中:37-25°N、県南:37-00°N、</p>	<p>【4月上旬~中旬】 県北:沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」 県中:沿岸、沖合ともに「極めて高め」 県南:沿岸、沖合ともに「極めて高め」</p>	<p>【4月下旬~5月】 「平年並み」、もしくは高め基調で推移する。 【6月】 「平年並み」、もしくは「低め」基調で推移する。</p>	<p>気象庁の海面水温・海流1か月予報(4/20発表)によると、5月20日まで海面水温と海流の見通しは「本州東方の水温は、平年より高い」見込みとなり、「親潮南限位置は40°N、144°付近」、「面積は平年より小さいか、かなり小さい」と予想されている。 FRA-ROMSの100m深水温図によると、6月上旬から中旬にかけて、本県沿岸へ親潮系冷水の波及が予想されている。</p>	<p>特になし</p>

	沿岸:142-00° E以西、沖合:142-15° E以東			以上の事から、4月下旬から5月にかけて平年並みもしくは高め基調、6月は平年並みもしくはやや低め基調で推移すると推測した。	
常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸；茨城水試発表)	1月は、犬吠埼定線では「平年並み～やや低め」であったが、会瀬～鹿島定線では概ね「平年並み～やや高め」で、一部「高め」の点が見られた。 2月は、0～200m深のほぼ全層で「平年並み～やや低め」であり、一部「低め」となった点も見られた。 3月は、荒天により鹿島・犬吠埼定線が欠測となった。観測を行った会瀬・大洗定線では、全層で概ね「平年並み」となった。	4月は、会瀬～犬吠埼定線の全域・全層で概ね「平年並み～やや高め」。会瀬～鹿島定線の沿岸部で南向きの潮流が観測された。	「平年並み～やや高め」で推移する。	① 気象庁の1か月予報(4/20発表)によると、向こう1か月の東北海域および関東の東の海域の海面水温は「平年より高い」。 ② FRA-ROMSによると、4月下旬の水温は、表層で「平年並み～やや高め」、100m深で概ね「平年並み」だが一部で「高め」。5月下旬の水温は表層・100m深で「平年並み～やや高め」。	特になし

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～